

令和 7 年度 (一財)沖縄県北部医療財団の 活動状況について

令和 8 年 3 月 26 日協議会
公立沖縄北部医療センター整備協議会事務局
(沖縄県北部医療財団)

報告事項

1. 職員アンケート調査結果について ・ ・ ・ ・ ・ 2
2. 北部地域医療勉強会の開催について ・ ・ ・ ・ ・ 11
3. 名桜大学との包括連携協定の締結について ・ ・ 12

1 職員アンケート調査結果について

調査の概要

- 1 **調査期間**：令和7年11月21日(金)～令和8年1月30日(金)
- 2 **調査方法**：Googleフォームを利用したウェブアンケート方式
- 3 **対象**：北部地区医師会病院
県立：病院事業局、北部病院、中部病院、南部医療センター・こども医療センター、宮古病院、八重山病院、精和病院
- 4 **調査項目**：
 - (1) 基本情報
勤務先、性別、年代、居住地域、雇用区分、職種、所属
 - (2) 公立沖縄北部医療センターに関する調査結果の項目
 - ① 現時点での転籍希望について
 - ② 転籍を希望しない・分からないと回答した理由について
 - ③ 個別説明会の参加希望について
 - ④ 派遣（出向）による勤務希望について（県立のみ）
 - ⑤ 要望・意見（自由意見）について

回答状況

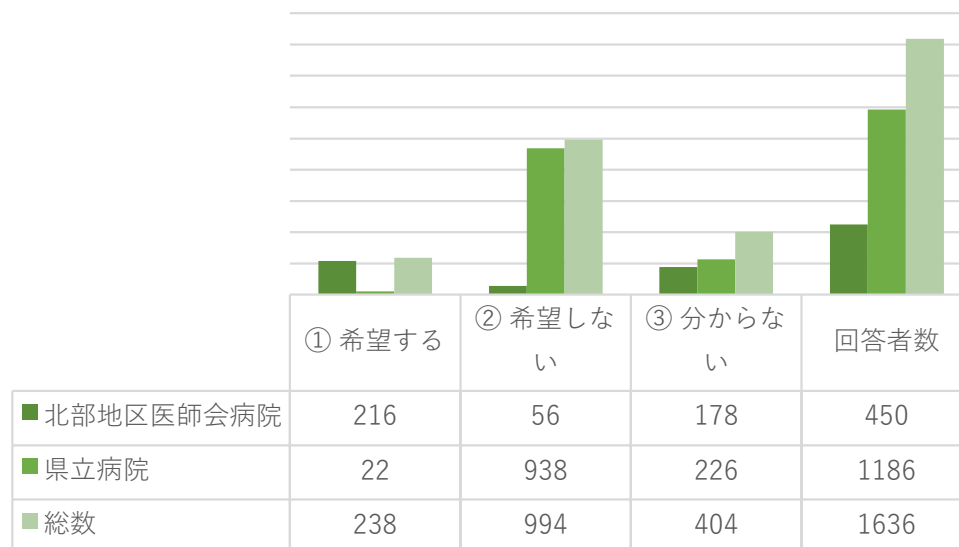
- 1 調査件数 1,883件（正職員1,636件、非常勤247件）
（うち、県立病院 1,403件、北部地区医師会病院 480件）
- 2 回答率 34.9%（令和6年度27.2%、令和5年度19.3%、令和4年度25.8%）
（うち、北部地区医師会病院66.7%、県立病院30.0%）

		正職員			非常勤			総計			令和6年度回答率			令和5年度回答率			令和4年度回答率		
		対象職員数	回答数	回答率	対象職員数	回答数	回答率	対象職員数	回答数	回答率	対象職員数	回答数	回答率	対象職員数	回答数	回答率	対象職員数	回答数	回答率
		(A)	(B)	(B)/(A)	(A)	(B)	(B)/(A)	(A)	(B)	(B)/(A)	(A)	(B)	(B)/(A)	(A)	(B)	(B)/(A)	(A)	(B)	(B)/(A)
県立病院		3,350	1,185	35.4%	1,329	218	16.4%	4,679	1,403	30.0%	4,685	1,074	22.9%	4,425	699	15.8%	4,464	1,006	22.5%
内訳	北部病院	419	205	48.9%	156	58	37.2%	575	263	45.7%	595	242	40.7%	593	182	30.7%	601	308	51.2%
	中部病院	992	339	34.2%	407	38	9.3%	1,399	377	26.9%	1,384	184	13.3%	1,268	223	17.6%	1,340	200	14.9%
	南部医療センター	949	259	27.3%	385	55	14.3%	1,334	314	23.5%	1,369	272	19.9%	1,313	190	14.5%	1,303	301	23.1%
	宮古病院	400	58	14.5%	157	3	1.9%	557	61	11.0%	528	98	18.6%	521	39	7.5%	499	96	19.2%
	八重山病院	361	190	52.6%	150	26	17.3%	511	216	42.3%	506	159	31.4%	511	34	6.7%	507	64	12.6%
	精和病院	156	118	75.6%	67	36	53.7%	223	154	69.1%	218	108	49.5%	219	31	14.2%	214	37	17.3%
	本庁	73	16	21.9%	7	2	28.6%	80	18	22.5%	85	11	12.9%	-	-	-	-	-	-
北部地区医師会病院		628	451	71.8%	92	29	31.5%	720	480	66.7%	676	385	57.0%	661	281	42.5%	707	327	46.3%
総計		3,978	1,636	41.1%	1,421	247	17.4%	5,399	1,883	34.9%	5,361	1,459	27.2%	5,086	980	19.3%	5,171	1,333	25.8%

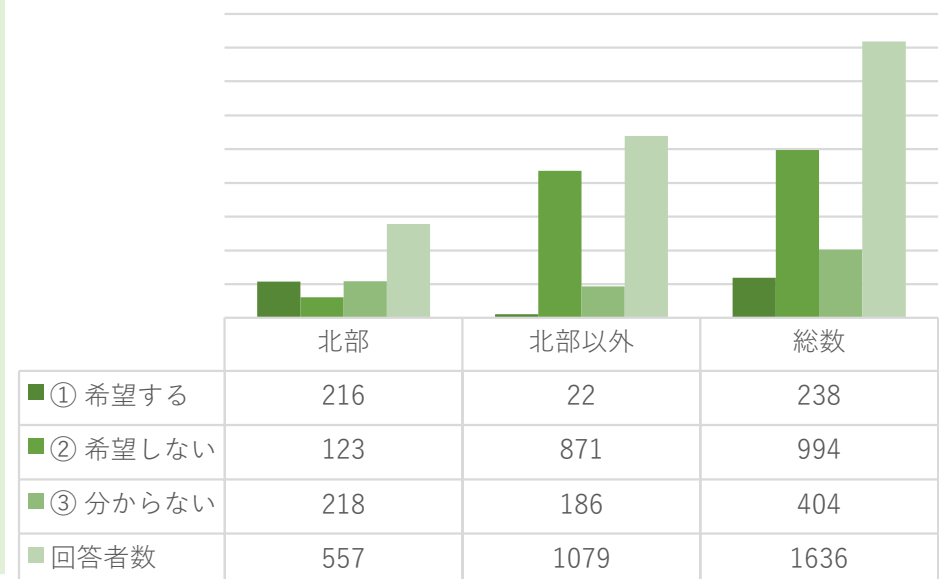
北部医療センターへの転籍希望

- 回答者数1,636名（正職員）のうち、現時点で北部医療センターへの転籍を「①希望する」と回答したのは238名（14.5%）、「②希望しない」と回答したのは994名（60.8%）、「③分からない」と回答したのは404名（24.7%）であった。
- 転籍希望の内訳は、医師会病院が217名（47.2%）、県立病院が21名（1.8%）となっている。
- 居住地別では、北部地域に居住している557名のうち、転籍を「①希望する」と回答したのは216名（38.8%）、「②希望しない」と回答したのは123名（22.1%）、「③分からない」と回答したのは218名（39.1%）であった。
- 北部地域以外に居住している1,079名のうち、転籍を「①希望する」と回答したのは22名（2.0%）、「②希望しない」と回答したのは871名（80.7%）、「③分からない」と回答したのは186名（17.2%）であった。

北部医療センターへの転籍希望者数
（病院ごと）



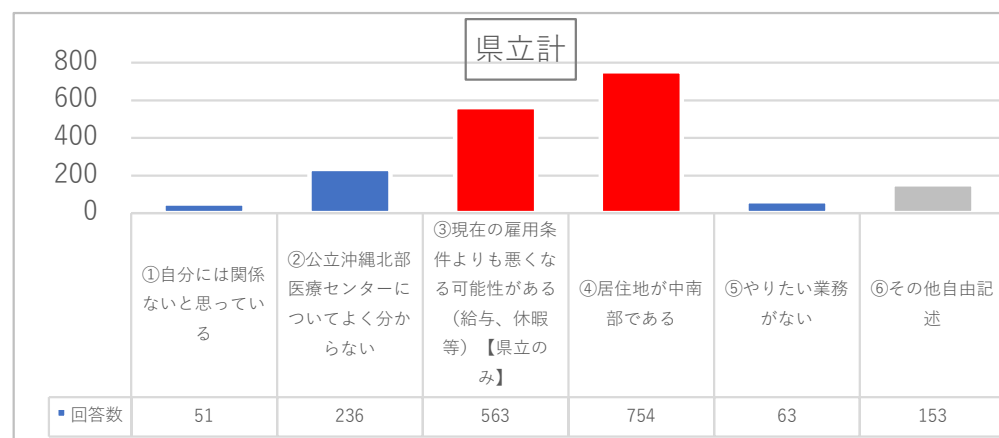
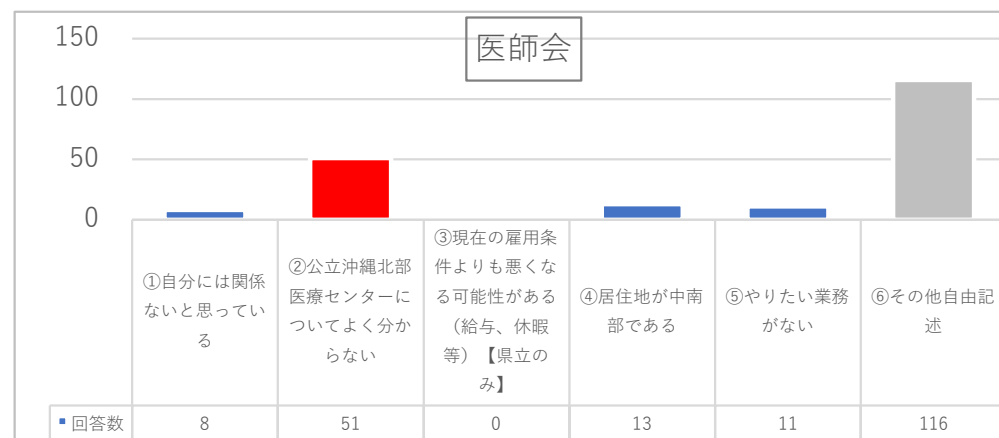
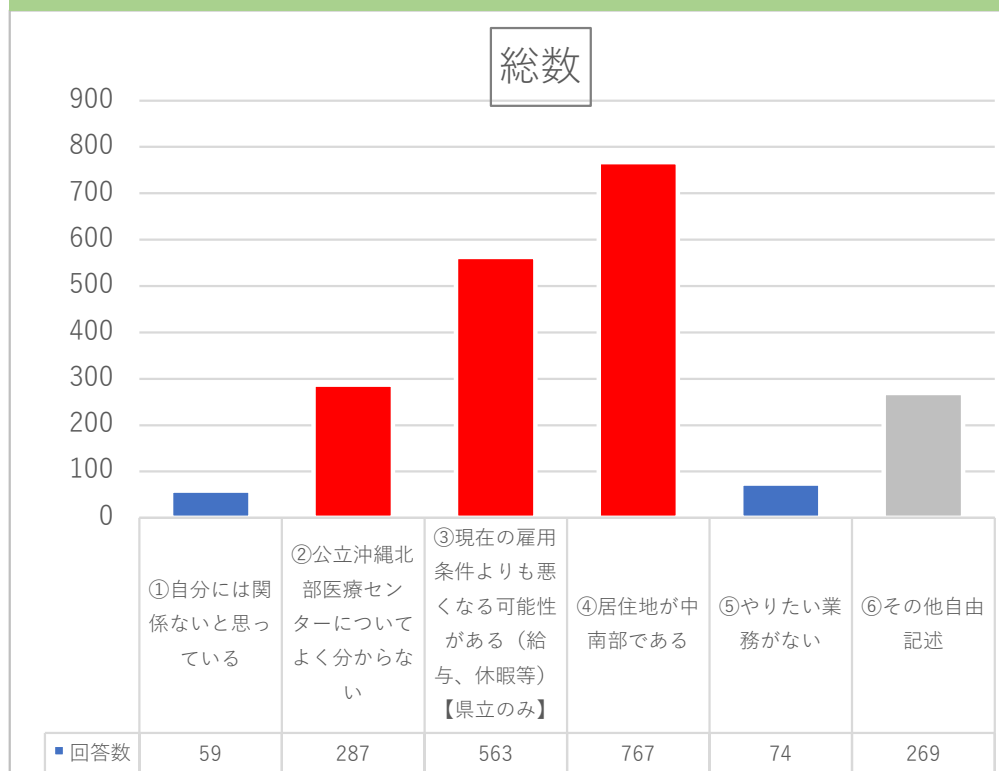
北部医療センターへの転籍希望者数
（居住地ごと）



転籍を希望しない・分からない理由

- 転籍を希望しない・分からないと回答した対象者にその理由を確認した。
- 最も多かった理由は、「④居住地が中南部である」（767名）、次いで、「③現在の雇用条件よりも悪くなる可能性がある【県立のみ】」（563名）、「②公立沖縄北部医療センターについてよく分からない」（287名）の順となっている。
- 医師会病院は「②公立沖縄北部医療センターについてよく分からない」（51名）が最多、県立病院は「④居住地が中南部である」（754名）と「③現在の雇用条件よりも悪くなる可能性がある【県立のみ】」（563名）の回答数が多い。

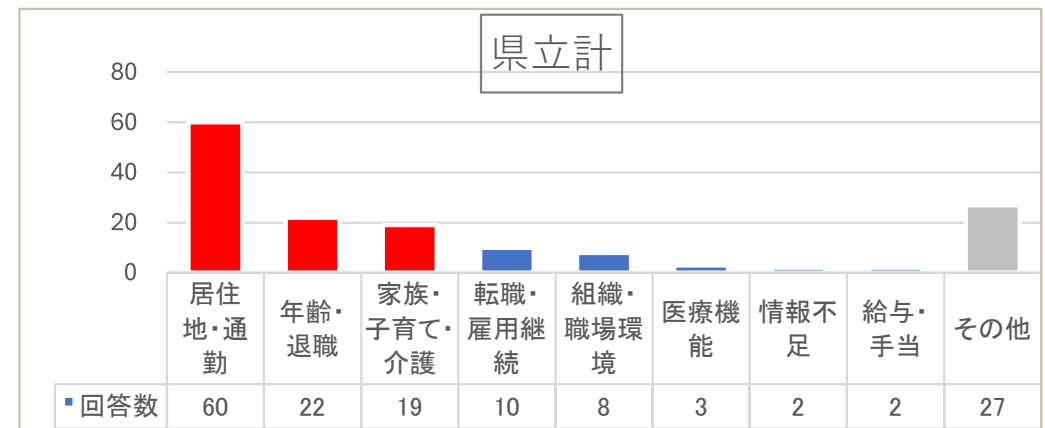
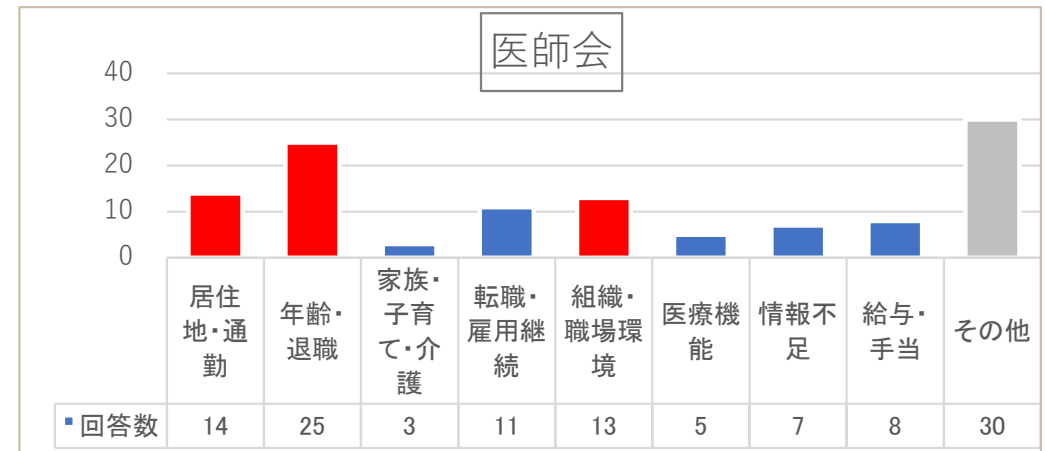
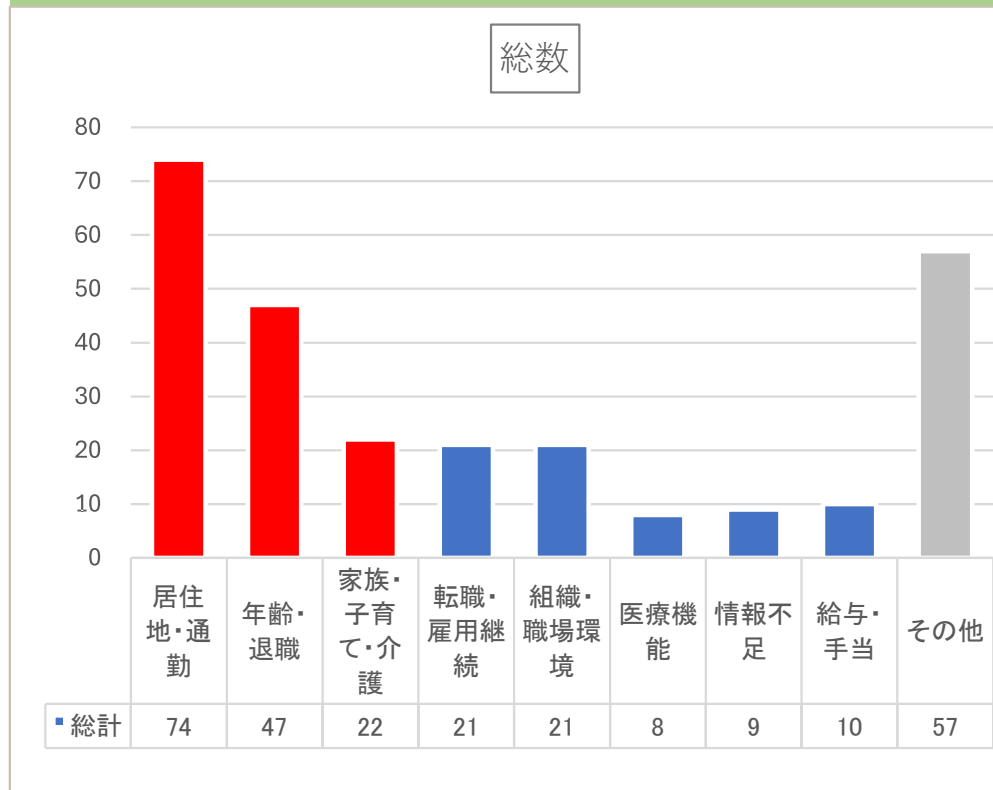
転籍を希望しない理由【正職員】



転籍を希望しない・分らない理由【その他理由】

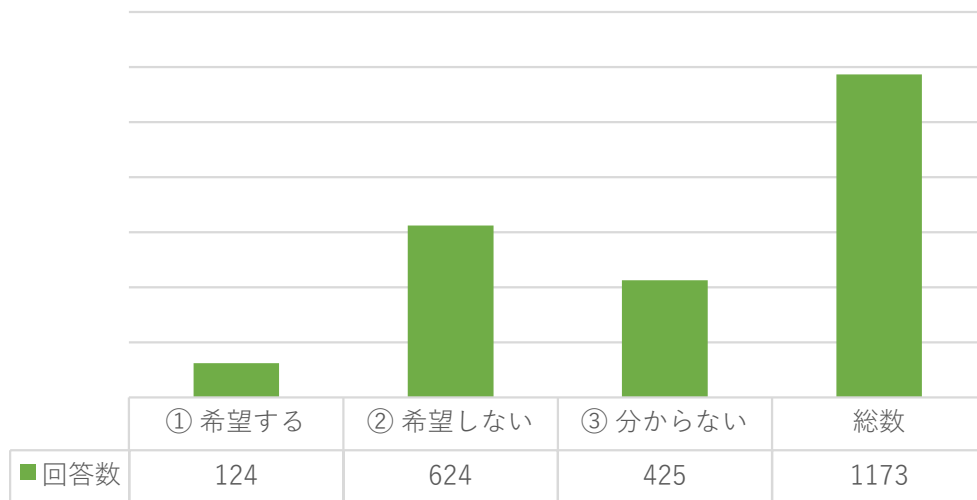
- その他の理由（自由記述）について、グルーピングによる集計を行った。
- 最も多かった理由として、74名が回答した「居住地・通勤」、次いで、「年齢・退職」（47名）、「家族・子育て・介護」（22名）の順。
- 医師会病院は「年齢・退職」（25名）が最多で、「居住地・通勤」（14名）、「組織・職場環境」（13名）の順。
- 県立病院は「居住地・通勤」（60名）が最多で、「年齢・退職」（22名）、「家族・子育て・介護」（19名）の順。

転籍を希望しない理由（その他）【正職員】



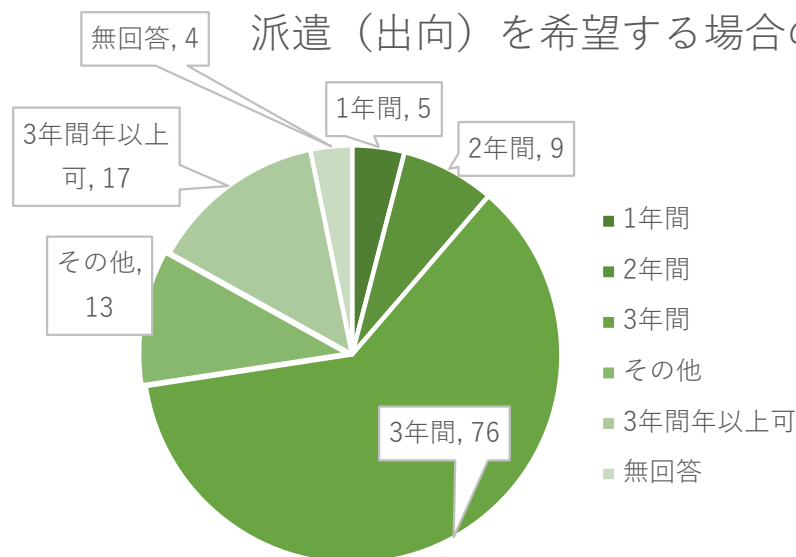
北部医療センターへの派遣（出向）希望

派遣（出向）を希望する職員



- 回答者数1,242件のうち、「県職員としての身分が保証される場合、公立沖縄北部医療センターへの出向（派遣）を希望するか」という質問に対して、
- 「①希望する」と回答したのは124名（10.5%）
- 「②希望しない」が624名（52.7%）
- 「③分からない」と回答したのは425名（35.9%）であった。

派遣（出向）を希望する場合の期間

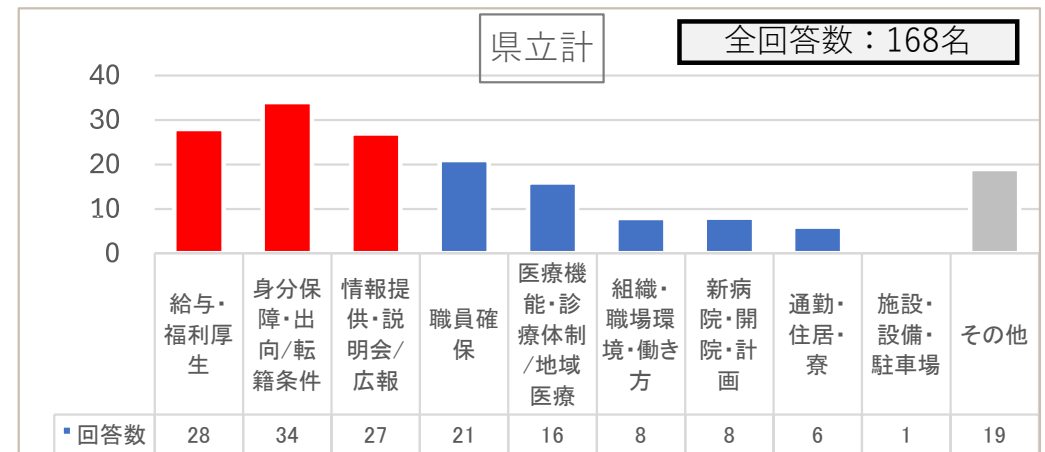
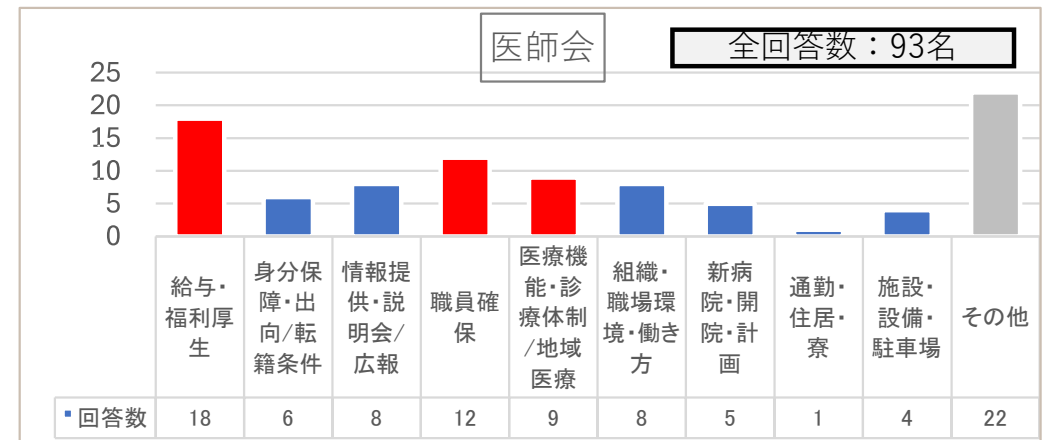
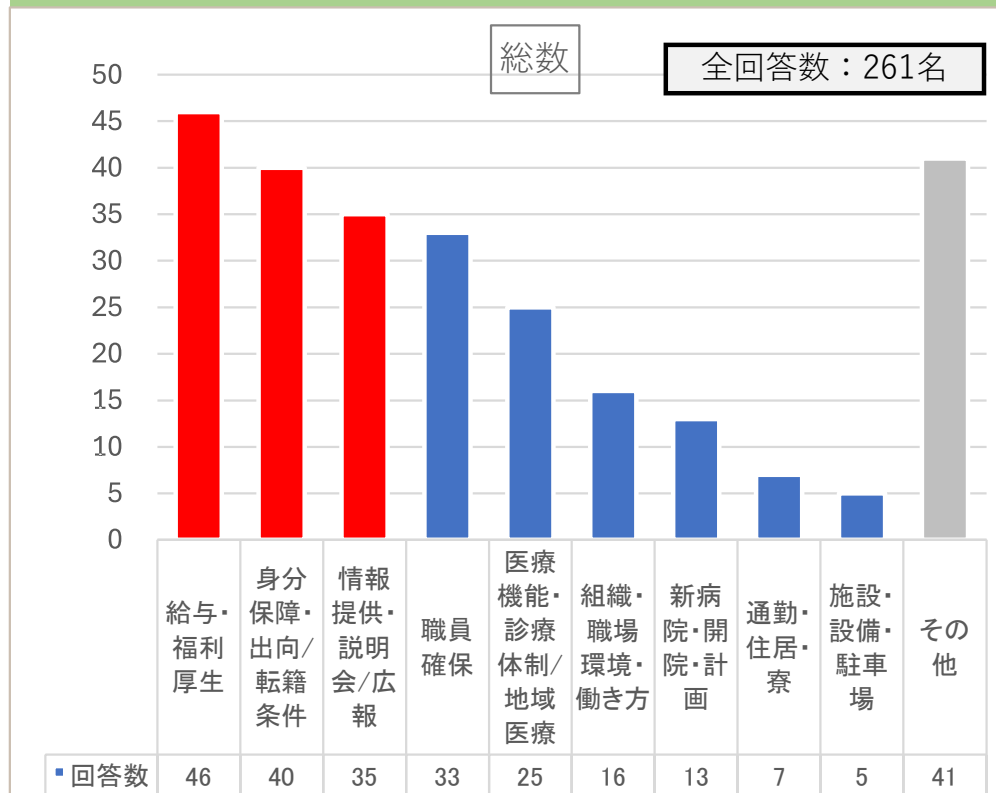


- 「①希望する」と回答した124名の派遣（出向）希望の期間は、
- 「3年間」が最多で76名（61.3%）
- 次いで「3年以上可能（条件付含む）」が17名（13.7%）
- 「2年間」が9名（7.3%）であった。

北部医療センターへの要望・意見（自由意見）

- 自由意見（フリーコメント）について、グルーピングによる集計を行った。
- 全体では「給与・福利厚生（改善要望含む）」（46名）が最多で、次いで、「身分保障・出向/転籍条件」（40名）、「情報提供・説明会/広報」（35名）の順。
- 医師会病院は「給与・福利厚生（改善要望含む）」（18名）が最多で、「職員確保」（12名）、「医療機能・診療体制/地域医療」（9名）の順。
- 県立病院は「身分保障・出向/転籍条件」（34名）が最多で、「給与・福利厚生（改善要望含む）」（28名）、「情報提供・説明会/広報」（27名）の順。

自由意見【正職員】



調査結果の総括

○合計362名の転籍・派遣（出向）が見込まれる

転籍を希望：238名

派遣勤務を希望：124名

■居住地別の傾向

北部地域以外の居住者の約8割が、北部医療センターへの転籍を「希望しない」と回答している。

■年代別の傾向

特に若年層において、転籍・出向ともに「分からない」と回答し、明確な意向を示していない割合が高い。

■「希望しない・分からない」理由

北部地区医師会病院：「北部医療センターについてよく分からない」との回答が多数。

県立病院：「居住地」や「雇用条件が悪化する可能性」への懸念が多い。

■自由意見

給与・福利厚生、転籍・派遣条件など、具体的な雇用条件に関する情報提供（説明会の開催等）を求める声が多く挙がっている。

■回答率

全体：約34.9% 北部地区医師会病院：66.7% 県立病院：30.0%

回答率の状況を踏まえ、引き続き転籍・派遣に関する周知および意向確認の働きかけが必要である。

今後の方向性

■ 転籍及び出向の制度設計の提示

- 共通：雇用条件（給与・福利厚生）の提示。
 - ✓ 長距離通勤者に対する通勤手当（高速代含む）、転居者に対する引越費用・住宅/寮の借上げ・一時金支給。
- 転籍：退職関連（退職金、自己都合/会社都合）・転籍後の雇用条件の明確化。
- 出向：選定基準（希望者/出向依頼）、県職員としての身分保障の内容（給与水準の保証、経験年数の加算・復帰等のキャリアパス）の提示、インセンティブ（離島勤務回数の加算など）の検討。

■ 情報発信の強化

- 説明会および個別相談の実施。
- WEBサイト・ニュースレター等における採用情報の定期的な発信。
 - ✓ 個別相談窓口を常設化し、質問事項はFAQ化して提示。
 - ✓ 転籍・出向に関するよくある質問（FAQ）の作成・公開。

■ 雇用条件（給与・待遇面）などの就業規則等のブラッシュアップの検討を進めていく。

■ 今回の調査において転籍希望などを示した職員への説明会や個別相談を進めていき、具体的な開院までの手続き等について連携して確認していく。

■ 併せて、分からないと回答した職員のうち、転籍希望がある職員や派遣に応じてもよい職員への呼びかけ・説明会を行う。

2 北部地域医療勉強会の開催について

本勉強会の目的（新たな地域医療構想〔2040年を見据え〕）

- ① 北部地域の将来の医療提供体制（**将来像**）を関係者で共有する
- ② 病院群の**機能分担**と連携の方向性を整理する
- ③ 介護・訪問／在宅医療等との**協働**を含めた連携強化を図る
（将来的な「**地域医療連携推進法人**」の設立も視野に、関係機関の連携基盤の強化）



開催実績（令和7年度）

- **第1回（R7.10.20）**
テーマ：地域医療構想について
参加者：**21**団体・34名（オンライン3名）
- **第2回（R7.12.1）**
テーマ：介護医療連携と在宅医療について
参加者：**21**団体・37名（オンライン8名）
- **第3回（R8.1.26）※沖縄県医師会共催**
テーマ：救急医療の現在地とこれから
参加者：**75**団体・**118**名（オンライン84名）

成果・到達点

- ✓ 地域医療構想を基盤とした議論の開始
- ✓ 在宅・介護を含む多職種連携の方向性を確認
- ✓ 沖縄県医師会共催により、広域的議論へ発展
- ✓ 参加団体・参加者数の大幅増加



第1回（R7.10.20）



第2回（R7.12.1）



第3回（R8.1.26）



第3回（R8.1.26）
（厚生労働省 西嶋課長）

2040年を見据えた医療機能分担・連携体制構築に向けた議論基盤を形成

3 名桜大学との包括連携協定の締結について

13

※ 令和8年3月16日締結 公立大学法人名桜大学 × 一般財団法人沖縄県北部医療財団

包括連携協定の目的

- 人的・物的資源を活用した連携体制の構築
- 北部地域の医療提供体制の充実
- 教育・学術研究を通じた人材育成・安定的確保



主な連携の柱

- ① 看護学教育の充実、看護人材の育成・確保
- ② 学生の実践的教育・研究の場の提供
- ③ 地域の健康づくり・地域包括ケア体制の整備
- ④ 医療・健診データの活用、学術研究の推進
- ⑤ その他、発展的・柔軟な連携

新病院開院を見据えた連携枠組み

- 教育・研究・人材育成体制の**事前設計**
- 開院後の**段階的実装**に向けた協議の開始
- 地域に根ざす人材育成・定着の**仕組みづくり**

協定締結の様子



包括連携協定 調印



協定書 提示

新病院を核とした

「医療×教育×人材」一体型基盤の構築

